

# Weekly コラム

平成 28 年 9 月 6 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 21 世紀の世界大戦

7 月に配信が始まったスマートフォン・ゲーム「ポケモン GO」は全世界のダウンロード数が 1 億を達成し凄まじい勢いです。ポケモンは日本発のキャラクターですが、米国ベンチャーのナイアンティック社が開発・配信・運営を行い、グーグルが配信インフラと地図情報サービスを提供する完全に米国発のゲームです。

この「ポケモンGO」に神経を尖らせているのがロシアと中国です。ロシア政府はロシア国内での「ポケモンGO」の使用を禁止し、その代わりにロシアの歴史にゆかりのあるキャラクターを捕まえるゲームアプリを 8 月末までににも配信すると発表しました。ロシア政府が「ポケモンGO」を禁止した理由として、「群集を集めたり特定の情報を拡散したりして、政変を起こす道具として使われる可能性がある」、「米国の情報機関によって作られた可能性がある」としています。中国でも、まだ同国内で利用できないにも関わらず、関心が高まる国民へ「ポケモンGO で遊ぶな。米日が中国の秘密基地を探查できるようにしたものだ」と呼び掛けているようです。愛らしいポケモンキャラクターにここまで警戒する必要があるのでしょうか。それもあながち間違いではなさそうな背景があるのです。

「ポケモンGO」を開発した「ナイアンティック社」の CEO、ジョン・ハンケ氏は 2001 年にグーグルマップとグーグルアースの実現に貢献した「キーホール社」を設立した人物です。「キーホール社」は 2004 年にグーグルによって買収されていますが、もともとこの会社は、CIA が有望なベンチャービジネスへの投資を行うことを目的に 2000 年に設立した「インキュテル社」の出資で設立されたものだといわれています。さらにその「インキュテル社」は、米国防省の「米国家地球空間情報局(NGA)」の出資でできた会社で、この会社は、国家の安全保障に必要な地理空間情報の提供をおもな任務にしています。この経緯を踏まえると「ポケモンGO」を使い CIA や「米国家地球空間情報局(NGA)」が、ゲームのユーザーからデータを収集する目的を持っている可能性は高いと考えられるのです。

習近平・国家主席も軍事施設などの重要情報が漏えいすると懸念を示しています。珍しいキャラクターを、プレーヤーが入ろうとしない地域に配置し、誰も捜しに行かないようなら、そこはアクセスが制限され、軍事地域である可能性が推測できるのです。本当にそういう意図を持って作られたゲームであれば、21 世紀の世界大戦は、私たちが知らないところでもうすでに始まっているのかもしれない。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、[skc-soudan@skc.ne.jp](mailto:skc-soudan@skc.ne.jp) まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。